

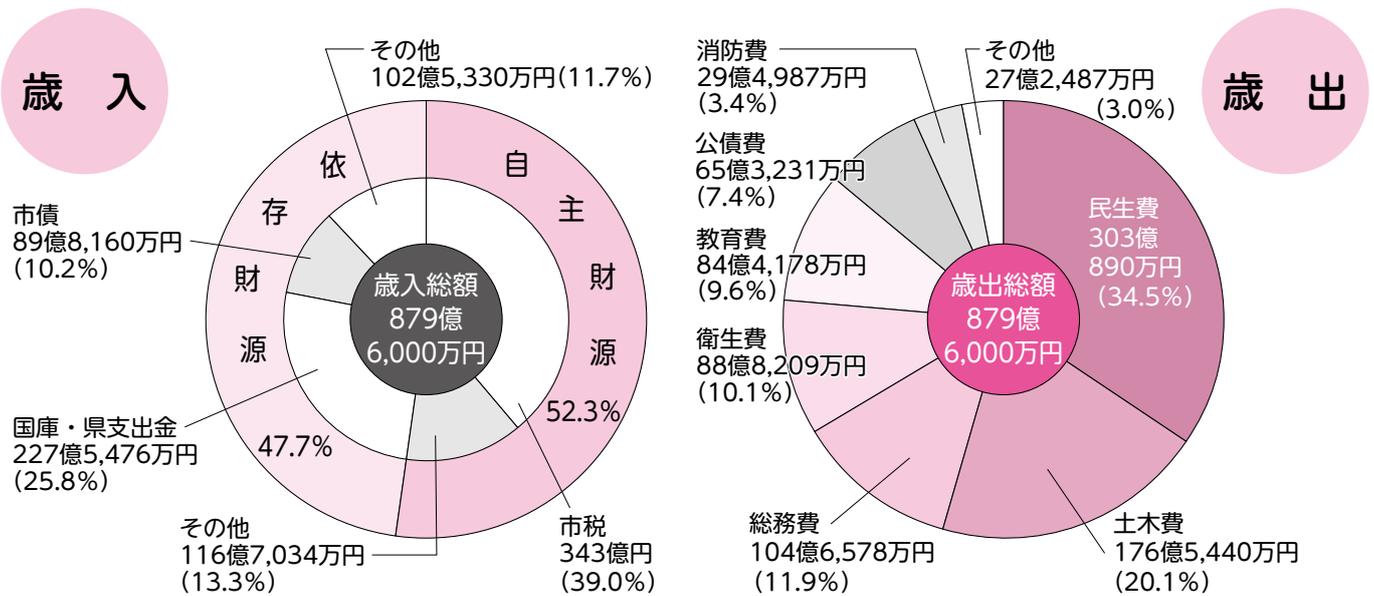
令和6年度予算を可決しました!

総額1,585億1,200万円

一般会計

一般会計は、市民税などの市税を主な財源として、道路や学校の整備、福祉やごみの処理などの事業を行うための会計です。

| 令和6年度予算額 | 令和5年度予算額 | 比較増減 | 増減率 |
|-------------|-------------|------------|------|
| 879億6,000万円 | 800億9,000万円 | 78億7,000万円 | 9.8% |



一般会計予算決算委員会での主な質疑

問 令和6年度予算における歳入歳出全体の特徴は。

答 令和5年度と比べ、歳入については、景気回復に伴う市民税の増やふるさと納税寄附金の増などにより、自主財源が約27億6,000万円の増額となっている。また、歳出については、消費的経費について、人件費が定年退職者数の増や会計年度任用職員の勤勉手当の支給開始などにより11億3,305万8,000円の増額、物件費がふるさと納税の返礼品に係る経費の増や、社会保障・税番号システム整備事業費の増などにより、15億1,375万5,000円の増額となっている。投資的経費については、沼津駅周辺総合整備事業の着実な進捗や、良好

な都市環境の創出に向けた市街地再開発事業への支援などに係る増、激甚化・頻発化する風水害や巨大地震などに対する防災対策に係る増、校舎建て替えに係る増などにより、45億7,301万4,000円増額するものである。

問 ふるさと納税寄附金を大幅に増額する理由は。

答 令和5年度はふるさと納税推進室を設置し、組織強化を図るとともに、返礼品の拡充に努めたほか、寄附サイトを増設したことなどにより寄附額が増加したため、令和5年度当初予算と比べ20億円増額するものである。

問 防犯まちづくり事業の取

組は。

答 防犯灯設置費補助やパトロール活動の推進を引き続き行うほか、令和6年度においては、市民や事業者の協力を得て、日常生活や事業活動を実施しながら行う「ながら見守り活動」の制度を拡充する。多くの市民・事業者が参画することで、市内全域での防犯まちづくりの意識と犯罪抑止力の向上が図られるものと認識している。

問 ゼロカーボンシティ NUMAZU2050 推進事業における重点対策加速化事業費補助の内容は。

答 ゼロカーボンシティ NUMAZU2050 の実現のため、エネルギー消費量を50

%以上削減する事業所や、建物の中で消費するエネルギーを再生可能エネルギーで賄うことができるエネルギー収支ゼロ住宅の新築に対する補助などを実施するものである。

問 令和5年度と比べ沼津駅周辺総合整備事業に係る予算を増額する理由は。

答 令和5年度の新貨物ターミナル鉄道施設工事の着手に加え、令和6年度は新車両基地の工事に着手すること、また、これら事業の進捗に伴い、沼津駅周辺の土地区画整理事業や鉄道と交差する道路の工事などが大きく動き出すことから、令和5年度に比べ18億7,968万円増額するものである。